

# タウンミーティングが開かれました

## 6年生が村の未来に向け提案を行いました

2月22日、いいたて希望の里学園の6年生が飯館村の未来に向けた提案を行う「いいたて村タウンミーティング」が開かれました。6年生は「いいたて学」で飯館村の伝統・文化について学んできたことを基に「大雷神社の祭りから考える飯館村の未来について」と題して3つの提案を行いました。



村役場の第一会議室で杉岡村長や遠藤教育長を前に堂々と提案を行いました。

大雷神社の祭りをテーマに、

村の未来につながる取り組みのアイデアを練ってきた6年生。「神社をめぐるスタンプリアー」「伝統芸能体験会」「キャラクターの開発と仕事づくり」という3つの提案を行いました。なぜそのアイデアを考えたのか、実現を通してどんな祭りに、さらにはどんな村になつてほしいのかを含め、しっかりと提案することができました。

杉岡村長は、「祭りを盛り上げさらには村をよくするためのアイデアに感動しました」と伝え、各提案について児童と語り合いました。6年生は今後、この助言等を取り入れて内容を深め提言書をまとめるそうです。

伝統芸能体験会やその発信が「村を知る」「村に来る」きっかけになると考えます。



電子機器を使い落ち着いた態度でプレゼンテーション。



充実した意見交換ができました。最後に記念撮影。

# Native Speakers 第23回

ネイティブ・スピーカーズ 飯館言葉の達人たち



その意味は...

とんによげて こっちゃきて

スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てください

または検索で!

飯館村 YouTube



### 編集後記

●「いいたて村芸能発表祭」で復活披露された「八木沢の田植踊」をはじめ、村が未来へ残すべき伝統芸能が、苦難を乗り越え、少しずつ、けれどたしかに、継承への歩みを続けています。学校の子ども達が授業で学ぶ凍み餅も、伝統のひとつです。そうして受け継がれる姿を見ると、明るい未来が見える気がします。(菅野)

●広報取材で皆さんの言葉に触れる時、暮らしが、家族が、生き方が、ふるさとへの思いが、ずっと心に沁みてきます。一つとして同じものはない一人ひとりの物語が、目を凝らすと無数に見えてくる星のように、飯館村できらめいている...何だか泣きたくなってしまいます...広報担当の役得ですね。(星)